

## プラスチックごみ問題の解決に向けた国や県の取組

世界では、プラスチックごみが川などを通じて内陸から海に流れ込み、生態系を含めた環境の悪化が問題となっています。こうした中、日本では2020年7月にレジ袋の有料化を義務付け、2022年4月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を施行し、「環境・経済・社会の三方よし」を目指して、プラスチックごみを減らし、資源循環を進める取組を進めています。滋賀県でも、2021年3月にプラスチックごみ削減の取組を例示した「滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針」を作成し、さらに取組を後押しするため、2023年10月1日から、毎月1日を「しがプラチャレンジの日」とし、10月を「しがプラチャレンジ推進月間」と定めました。



毎月ついたち  
しがプラチャレンジの日

### 「しがプラチャレンジの日」って？

毎月1日を「しがプラチャレンジの日」とし、プラスチックごみ削減に資する行動をとる特別な日と捉え、日常生活を見つめ直し、ライフスタイルを切り替える機会とします。これまでの生活から一歩踏み出し、1つ1つ、できることからステップアップしてプラスチックごみ削減の取組にチャレンジしてみましょう！

### 「しがプラチャレンジ推進月間」って？

毎年10月を「しがプラチャレンジ推進月間」とし、行政や事業者・団体など、様々な主体が連携して集中的に普及啓発を実施します。これを機会にみんなが力を合わせて、プラスチックごみを出さない生活を目指ていきましょう！

## プラスチックごみについての豆知識



「国民1人当たりの  
プラスチック容器包装の廃棄量」が  
最も多い国はどこ？

UNEP（国連環境計画）の報告書『シングルユース・プラスチック』（2018年6月）によれば、「国民1人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量」の世界第1位はアメリカですが、日本は世界第2位となっています。



滋賀県では、循環型社会の実現に向けた  
3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進しています。  
プラスチックごみ削減等の  
3Rに関する普及啓発動画公開中！  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kohou/tvshiga/328059.html>

滋賀県ごみ減量資源化サイト  
ごみゼロチャレンジしが  
ごみゼロチャレンジしが  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/gomizero/index.html>

※2024年1月までは、「ごみゼロしが」の名称です。

ご意見・お問合わせ先

琵琶湖環境部 循環社会推進課 資源循環推進係

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1  
[TEL] 077-528-3477 [FAX] 077-528-4845 [e-mail] df00@pref.shiga.lg.jp



## ライフスタイルを見直そう。

マイバッグを  
持参しよう



マイボトルを使おう



シャンプーボトルを  
繰り返し使おう

ごみはしっかり  
分別しよう



毎月ついたち  
しがプラチャレンジの日

滋賀県では、プラスチックごみの3Rやプラスチック代替製品の利用活用を促進する日として毎月1日を「しがプラチャレンジの日」としています。  
私たちができるプラごみ削減活動を実践しましょう。

プラスチック代替  
製品を選ぼう



店頭回収を  
利用しよう



この取組は「琵琶湖版のSDGs」である「マザーレイクゴールズ（MLGs）」の目標達成に貢献しています。

# スリーアール 3R+Renewableって何だろう？

「Reduce(リデュース)」「Reuse(リユース)」「Recycle(リサイクル)」の3つを合わせて「3R(スリーアール)」といいます。この3Rに「Renewable(リニューアブル)」を加えた3R+Renewableを実践することで、捨てられるプラスチックごみをできる限り減らし、プラスチックのライフサイクル全体を通じた資源循環をめざすことが大切です。

## Reduce リデュース (発生抑制)

## Recycle リサイクル (再生利用)

## Reuse リユース (再使用)



リニューアブルは、「再生可能」という意味です。普通のプラスチックは、石油を原料としており、リサイクルができますが、使った資源（石油）は再生可能ではありません。そのため、紙や植物を原料とするバイオマスプラスチックなどの再生可能な資源に変えることで、持続可能な社会を目指すという、4つめのRです。



## 毎月ついたち「しがプラチャレンジの日」に 具体的にできることは？

取り組んだら□にチェックしてみよう！

### リデュース Reduce (発生抑制)

チェック

マイバッグを携帯し、  
レジ袋は買わないようにしましょう。

マイボトルを持参し、  
ペットボトルなどの利用を減らしましょう。

マイカトラリーを持参し、使い捨てのスプーンや  
フォークなどの利用を減らしましょう。

宿泊施設を利用するときは、  
ヘアブラシや歯ブラシなどを持参しましょう。

過剰な包装は断り、簡易包装や  
ばら売りをしている商品を選びましょう。



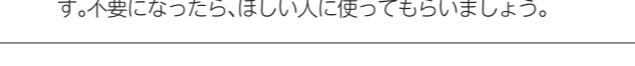
チェック

詰め替え商品を積極的に選んで買うようにしましょう。

シャンプーや洗剤、ボールペンなど、詰め替え用の商品を選ぶ方が、お財布にも優しいですね。

プラスチック製品を使うときは、  
長く繰り返し使いましょう。  
修理やメンテナンス、リメイクで長く製品を使いましょう。

フリーマーケットやリサイクルショップを活用しましょう。  
家電製品やおもちゃには、多くのプラスチックが使われています。不要になったら、ほしい人に使ってもらいましょう。



## 毎月ついたち しがプラチャレンジの日



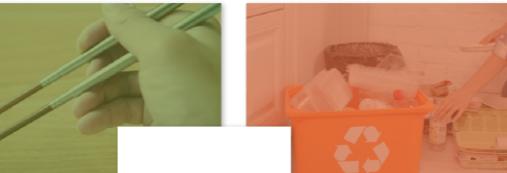
### リサイクル Recycle (再生利用)

チェック

ごみを分別しましょう。  
「混ぜればごみ、分ければ資源」です。自治体のルールに従い  
適切に分別し、排出しましょう。



店頭回収を利用しましょう。  
店頭に食品トレイやペットボトルなどの回収ボックスを設置し、  
自動販売機のリサイクルボックスを適切に利用しましょう。



自動販売機のリサイクルボックスを適切に利用しましょう。  
自動販売機のリサイクルボックスにごみが混ざっていると、  
ペットボトルなどのリサイクルができなくなってしまいます。



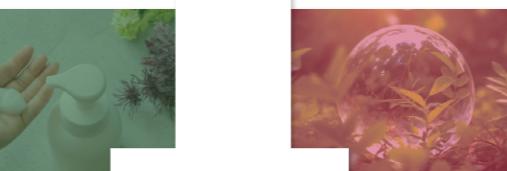
### リニューアブル Renewable (再生可能)

再生可能資源（紙・バイオマスプラスチック等）や  
再生素材の利用促進

チェック

プラスチックの代替製品を利用しましょう。

例えば、紙製品や木製品、植物を原料とするバイオマスプラスチックを使用した製品を使うことで、環境にやさしい選択ができます。



それでもごみになってしまった場合

チェック

清掃活動に積極的に参加しましょう。



ポイ捨てをしないようにしましょう。

3Rを経てもどうしてもごみになってしまったプラスチックは、  
適正に処理をしないと琵琶湖や川、さらには海に流失し、魚が誤って食べてしまうなどさまざまな問題を引き起します。

